

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成25年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報環境先端演習
英文名	Advanced Topics on Information Environment
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	紫合 治

目的概要	学生の研究の進捗度に合わせて将来の研究のための調査研究や具体的な研究課題を設定して研究を行う。実施方法は研究課題等に依存して決められる。具体的な実施に当たっては学生と十分に話し合っ進める。また科目の評価は具体的な実施方法や研究の進捗状況などにより決められる。
教科書名	特に指定しない。学生が自ら検索するようにする。または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する。
参考書名	特に指定しない。学生が自ら検索するようにする。または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する。
評価方法	実際に手法やシステム・ツールなどの提案を行い、それを実証するためのシステム・ツール開発を通して、その結果の分析過程、学会での口頭発表や学術論文誌への掲載によるプレゼンテーション技術などを見ることにより、その習得度を総合的に評価する。具体的には、提案は新規性・有効性の面で優れているか、開発・評価は適切か、誤りなく実装されているか、評価結果のデータ収集方法や分析は的確か、情報の提示技術(論文発表、プレゼンテーション技術)などを総合的に評価する。
テーマ・内容	目的の趣旨に鑑みて、時系列に沿った授業計画をたてることは難しいが、本演習は以下のような項目から構成される。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ソフトウェア工学に関する現状分析と問題の調査</li> <li>2) 問題を解決するための具体的なテーマの選定</li> <li>3) テーマに関する現在の研究状況の調査、分析</li> <li>4) 問題解決のための新たな手法、ツールなどの提案</li> <li>5) 提案の具体化のためのツール・システム開発</li> <li>6) 開発したツール・システムを使った提案方式の有効性の評価</li> <li>7) 評価に使った実験データの整理、分析</li> <li>8) 報告書のまとめ、学会発表、論文報告</li> </ol>
E-Mail address	<a href="mailto:shigo@sie.dendai.ac.jp">shigo@sie.dendai.ac.jp</a>
履修上の注意事項・学習上の助言	学会での発表を行うなど、計画的に研究を進め、博士學位論文を作成していく。具体的な指示は、状況に応じて相談の上進めるものとする。